

中小機構の創業・スタートアップ支援施策

2025年6月27日

独立行政法人中小企業基盤整備機構 創業・スタートアップ支援部

目次

1. 中小機構の創業・スタートアップ支援	p.3
2. 創業前支援・創業機運醸成	p.4
(ご参考)認定自治体創業支援担当者向け講習会について	p.5
3. 起業家教育	p.6
(ご参考)「起業家教育プログラム」標準的カリキュラム実践のための手引き	p.7
4. ソフト支援 スタートアップ挑戦支援事業	p.8
5. FASTAR	p.9
6. インキュベーション事業	p.10
7. Japan Venture Awards(JVA)	p.11
8. スタートアップマッチングスクエア(J-GoodTech)	p.12

1. 中小機構の創業・スタートアップ支援 各施策の概要

- ・ 創業機運醸成
- ・ スタートアップ
個社支援
- ・ 地域エコシステム
への貢献



インキュベーション事業

ハード&ソフト両面での集中支援
大学との連携によるテック系支援



創業支援等事業計画 機能強化事業

- ・起業家教育
- ・創業関心者への情報提供
- ・認定自治体等の支援



スタートアップ挑戦支援事業

- ・スタートアップ・起業家の相談対応
(戦略立案、事業計画、資金調達等)
- ・各地域本部が地域エコシステムへ参
画し、地域スタートアップの発掘・支援
を強化



IM派遣事業

- ・機構事業のノウハウ提供
- ・機構支援メニュー活用によるイン
キュベーション施設連携



Japan Venture Awards

ロールモデルとなる起業家・
ベンチャーキャピタリストの表彰



FASTAR

- ・アクセラレーションプログラムに
よる成長企業創出
- ・CVCや大企業とのマッチング



- ・ファンド出資事業
- ・ベンチャーデット

シードからレイター期の資金供給
の強化

2. 創業前支援・創業機運醸成

・ TIP*S(ティップス)

中小機構が有する創業支援手法・ノウハウを活用し、自治体との共催形式で創業機運醸成イベントを開催。イベントの企画や講師の派遣、当日の運営・広報業務の支援等を行っている。



参考: 中小機構「創業支援等事業計画機能強化事業」Webサイト
<https://entrepreneur.smri.go.jp/event/>

・ 自治体職員向け講習会

自治体の創業支援担当者を対象とした講習会を開催し、創業支援等事業計画の機能強化に繋がる創業支援事例や支援ノウハウ等を共有。令和7年度は8回の開催を予定。(詳細は次ページ)



・ 自治体の創業支援事例集

全国47自治体(市区町村)の特徴的な創業支援事例や熱心な創業支援担当者の取組事例を取り纏め、Webサイトで公開。



参考: 事例集
https://entrepreneur.smri.go.jp/related/r4_jichitaisogyo_view.pdf

(ご参考)認定自治体創業支援担当者向け講習会について

◆ 令和7年度の開催予定 (※今後、変更になる場合があります)

	日 程 開催形態	テーマ		日 程 開催形態	テーマ
第1回	開催終了 オンライン	公的機関による創業・スタートアップ支援施策紹介	第5回	11月～12月 オフライン	創業支援施策 立案力向上ワークショップ①
第2回	9月 オンライン	二拠点・移住、空き店舗活用×起業	第6回	令和8年1月 オンライン	自治体によるスタートアップの支援事例
第3回	10月 オンライン	事業承継×起業	第7回	1月～2月 オフライン	創業支援施策 立案力向上ワークショップ②
第4回	11月 ハイブリッド	自治体によるスタートアップ支援の第一歩	第8回	2月 ハイブリッド	先進的な取り組みを行う自治体の事例紹介 参加者交流会

※オンライン : オンライン(zoom)で開催

※ハイブリッド : リアル会場(東京都内など)で開催。同時にオンライン(zoom)で配信

※オフライン : リアル会場(東京都内など)で開催。少人数でのワークショップ形式を予定

3. 起業家教育

- 将来的に創業者となる人材を輩出し、開業率向上に繋げるため、起業家に必要とされるマインドと資質・能力を有する人材を育成するための若年層向け起業家教育を推進。
- 意欲の高い生徒が実際の創業に向かうよう一気通貫で支援し、その波及効果を高める。

出前授業支援

起業家を招いた講演・出前授業の実施を希望する高等学校等に対して、出前授業の実施に向けた企画相談や起業家(経営者等)の紹介、派遣等の支援を行っている。

参考: 起業家教育事業の概要

<https://entrepreneur.smri.go.jp/entrepreneur/>



起業家教育プログラム実施支援

起業家教育に取り組む全国の高等学校等に対して、「起業家教育カリキュラム」導入に向けた各種サポートを行うほか、同カリキュラムに基づく授業を実施する際の講師・起業家の派遣等の支援を行っている。

参考: 令和7年度の採択校

<https://entrepreneur.smri.go.jp/f74a7e0000000kpm.html>

参考: 起業家教育標準的カリキュラム

<https://entrepreneur.smri.go.jp/related/education/curriculum.html>

アウトプットの機会提供

起業家教育プログラムを通じて作成したビジネスプランについて、「成果発表会」を通じてアウトプットするとともに、起業家等からアドバイスを受ける機会を提供。

また、自らが作成したプランについてアドバイスを受け、同じ起業家教育に取り組む高校生との交流の場とすることで、生徒のモチベーション向上にも寄与している。

参考: 報告会の様子

<https://entrepreneur.smri.go.jp/hbvjl700000003i0.html>

(ご参考)「起業家教育プログラム」標準的カリキュラム実践のための手引き(改訂版)

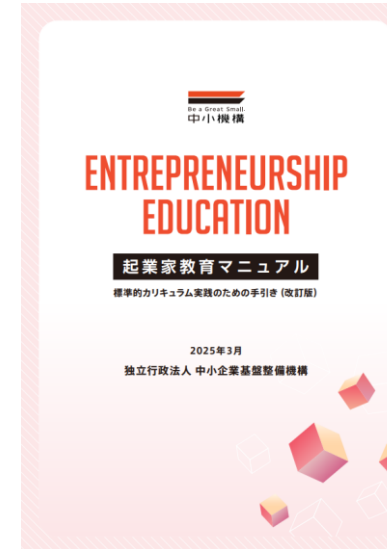
[ベーシックカリキュラム一覧] [オプションカリキュラム一覧]

アントレプレナーシップの意義	アイデアの発想
ニーズ発見	フィールドワーク
ビジネスプラン	顧客価値の検討
先行事例調査	ビジネスモデル作成
ビジネスプランの発表	提供内容の可視化
	ビジネスプランの改善
	収支計画
	プレゼンテーションの実施
	中間発表の実施
	ビジネスプランコンテスト
	起業家講演の実施
	ビジネスプラン社会実装
	企業との共同活動

<10時間の組み合わせパターン(例)紹介>

アントレプレナーシップの意義	ビジネスモデル作成
ニーズ発見	ビジネスプランの改善①
ビジネスプラン	ビジネスプランの改善②
顧客価値の検討	収支計画
先行事例調査	ビジネスプランの発表

<標準的カリキュラム(改訂版)>



カリキュラム本文



ワークシート

<標準的カリキュラム(改訂版)を使用した授業の様子>



4. ソフト支援 スタートアップ挑戦支援事業

- 2023年度から、中小機構の本部(東京)に加え各地域本部と沖縄事務所(10か所)にスタートアップ支援経験が豊富な専門家を配置し、地域のステークホルダーとの連携・協働の中で見いだされた地域の有望なスタートアップの支援ニーズに応えるべく開始したスポット相談事業。
- 中小機構の本部に24名、地域本部に58名の専門家を配置。

◆ 相談実績

- 2023年度の相談件数:807件
- 2024年度の相談件数:1,604件(R7.2月末時点)

◆ 相談内容

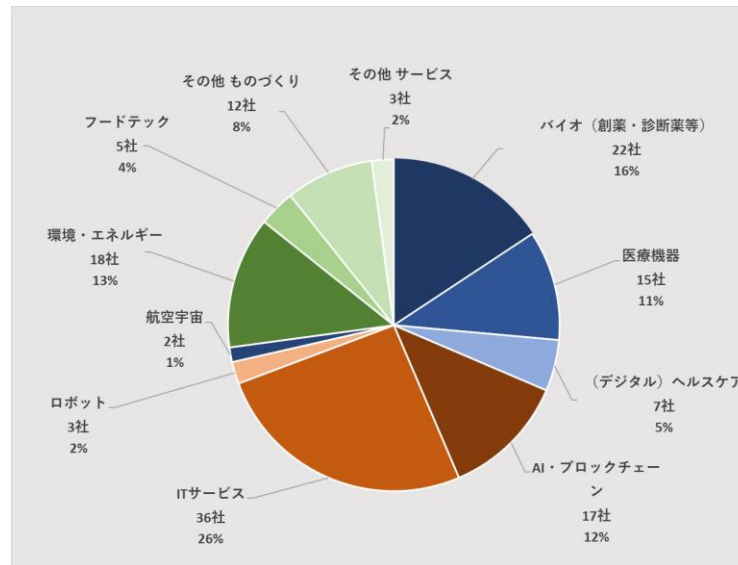
- 相談内容は、事業計画・経営戦略と資金調達・資本政策が大半を占め、ビジネスモデルの相談が増えつつある。
- 業種で見ると、情報・通信業、サービス業は事業計画・経営戦略、製造業は資金調達・資本政策に関する相談が多い。
- 設立前と創業2年以内の企業は事業計画・経営戦略が圧倒的に多く、創業3～5年以降は資金調達・資本政策が増加。



5. FASTAR

- 支援専門家がスタートアップに一年間伴走して、成長戦略や事業計画のブラッシュアップを支援するアクセラレーション・プログラム。
- プログラムのゴールとして、投資家や事業会社向けのピッチイベントを開催し、スタートアップに資金調達や事業提携の機会を提供。※優秀者には、審査委員(VC/CVC)との面会設定も副賞として付与
- 毎年2回公募を行い、全国のスタートアップを採択し支援を実施。

◆ 採択企業のセクター



- ライフサイエンス系の企業が全体の32%、ITサービス/AI・DX系の企業が38%、その他企業（環境・エネルギー系、ものづくり系、航空宇宙系等）が30%という構成。
- 地域別では、東京都の企業が3割を占める一方、地方の企業も多数支援（7割）。

6. インキュベーション施設の運営

- 中小機構は2001年からインキュベーション施設を運営し、これまでの入居者数は約2,000社。現在、全国で29施設を運営し、約500社が入居。
- 各施設では、事業スペースの提供だけでなく、施設に常駐する「インキュベーション・マネージャー」(IM)による経営全般に関する相談対応も実施している。
- 29施設の居室の7割は「ラボ型」の居室。研究開発型のスタートアップのニーズが高いため、今後もスタートアップによる利活用が期待される。

◆ 居室イメージ



オフィスタイプ

フリーアクセスフロア対応や個別空調など、事業活動をスムーズに開始できるオフィス環境です。



ラボタイプ

給排水設備や耐薬性素材の床など、実験研究を行う上で最適な環境です。また、実験室と併用したオフィスとしての利用も可能です。

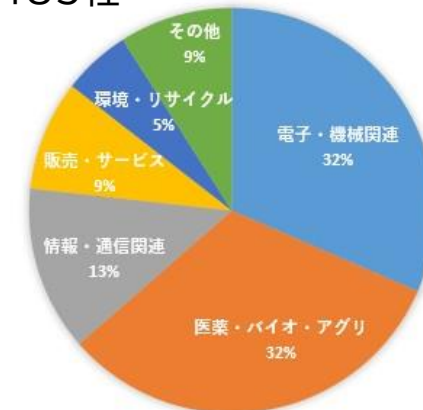


工場タイプ

天井高があり、耐荷重に優れ、三相電源を備えるなど試作開発を行う上で最適な環境です。一部の居室では屋外からの搬入口があります。



- ◆ 入居者の事業分野(2024年3月末現在)
入居率:89.1%(賃貸面積ベース)
入居社数:485社



7. Japan Venture Awards(JVA)

- 2000年以来、革新的かつ潜在成長力の高い事業や社会的課題の解決に資する事業を行う経営者を起業家のロールモデルとして表彰する制度として、JVA事業を実施。
- 当該事業実施を通し、スタートアップに関する理解や関心の向上、創業機運の醸成を狙う。
- これまでの受賞者からはユーグレナの出雲氏、アストロスケールの岡田氏など、昨今注目されている経営者を数多く輩出している。(これまで受賞者が経営する企業のうち、52社がIPO、58社がJ-Startup企業に選定等の活躍がみられる)

◆ 表彰式の様子



第24回JVA経済産業大臣賞(大串経済産業副大臣より授与)
フォロフライ株式会社 小間 裕康 氏(右)

◆ IPO実績

会社名	上場年月	市場	表彰	
(株) ミライロ	2025年3月	東G	JVA2018	経済産業大臣賞
フォルシア(株)	2024年12月	東G	JVA2011	I T 特別賞
BABY JOB(株)	2024年12月	東P	第23回JVA	中小機構理事長賞
Heartseed(株)	2024年7月	東G	JVA2021	科学技術政策担当大臣賞
(株) Liberaware	2024年7月	東G	第24回JVA	SDGs特別賞
(株) アストロスケールホールディングス	2024年5月	東G	JVA2020	科学技術政策担当大臣賞
リサイクルテック・ジャパン(株)	2024年5月	東P	JVA2008	シニア賞
(株) カウリス	2024年3月	東G	第23回JVA	中小企業庁長官賞
株式会社キャスター	2023年10月	東G	JVA2021	中小機構理事長賞
株式会社クラダシ	2023年6月	東G	JVA2021	審査委員会特別賞

8. スタートアップマッチングスクエア(J-GoodTech)

- 「スタートアップ、ベンチャー企業」と、新分野展開、新商品開発、共同開発、新規投資等を検討、投資先を探している「大手企業、海外企業、VC等」のビジネスマッチングをJ-GoodTechを活用して実施。
- スタートアップ等の出口支援、海外展開、売上拡大、新製品開発、共同開発、販路開拓等を創出。

